

別紙2

三重県 中央会情報連絡員報告総括表 (令和8年4月)

情報連絡員数	40 名	回答者数	40 名	回答率	100.0 %
--------	------	------	------	-----	---------

業界の景気動向(前年同月比)

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況								
		増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化						
製 造 業	食 料 品	0	4	0	0	4	0	1	3	0	0	3	1	0	2	2	0	3	1	0	4	0	0	4	0	0	4	0						
	織 維 工 業	3	0	0	0	2	1	2	1	0	0	3	0	0	3	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1						
	木 材 ・ 木 製 品	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1						
	紙 ・ 紙 加 工 品	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1						
	印 刷	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1						
	化 学 ・ ゴ ム																																	
	窯 業 ・ 土 石 製 品	0	3	0	0	3	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0						
	鉄 鋼 ・ 金 属	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0						
	一 般 機 器	2	1	0	0	3	0	2	1	0	0	2	1	1	1	1	0	1	2	0	1	2	0	3	0	1	2	0						
	電 気 機 器	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1						
	輸 送 機 器	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0						
そ の 他																																		
小 計		7	10	3	2	15	3	8	11	1	0	16	4	2	11	7	1	15	4	1	13	6	0	17	3	1	14	5						
非 製 造 業	卸 売 業	0	2	0	0	1	1	2	0	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	X			0	2	0	0	1	1						
	小 売 業	1	4	1	1	4	1	2	3	1	0	4	2	0	3	3	0	4	2				0	6	0	0	3	3						
	商 店 街	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0	0	1	0			
	サ ー ビ ス 業	1	3	0	X			2	2	0	0	4	0	1	3	0	0	3	1				0	4	0	0	3	1	0	3	1			
	建 設 業	1	3	0				3	1	0	1	1	2	1	1	2	1	3	0				0	3	0	0	3	1	1	2	1	0	2	1
	運 輸 業	0	1	0				1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	そ の 他	0	2	0				0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0				0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0
小 計		3	16	1							11	8	1	1	15	4	2	12	6	1	16	3				0	19	1	1	13	6			
合 計		10	26	4				3	21	5	19	19	2	1	31	8	4	23	13	2	31	7	1	13	6	0	36	4	2	27	11			

最近の主要指標の前年同月比D I の推移

(令和7年4月～令和8年4月)

三重県中小企業団体中央会

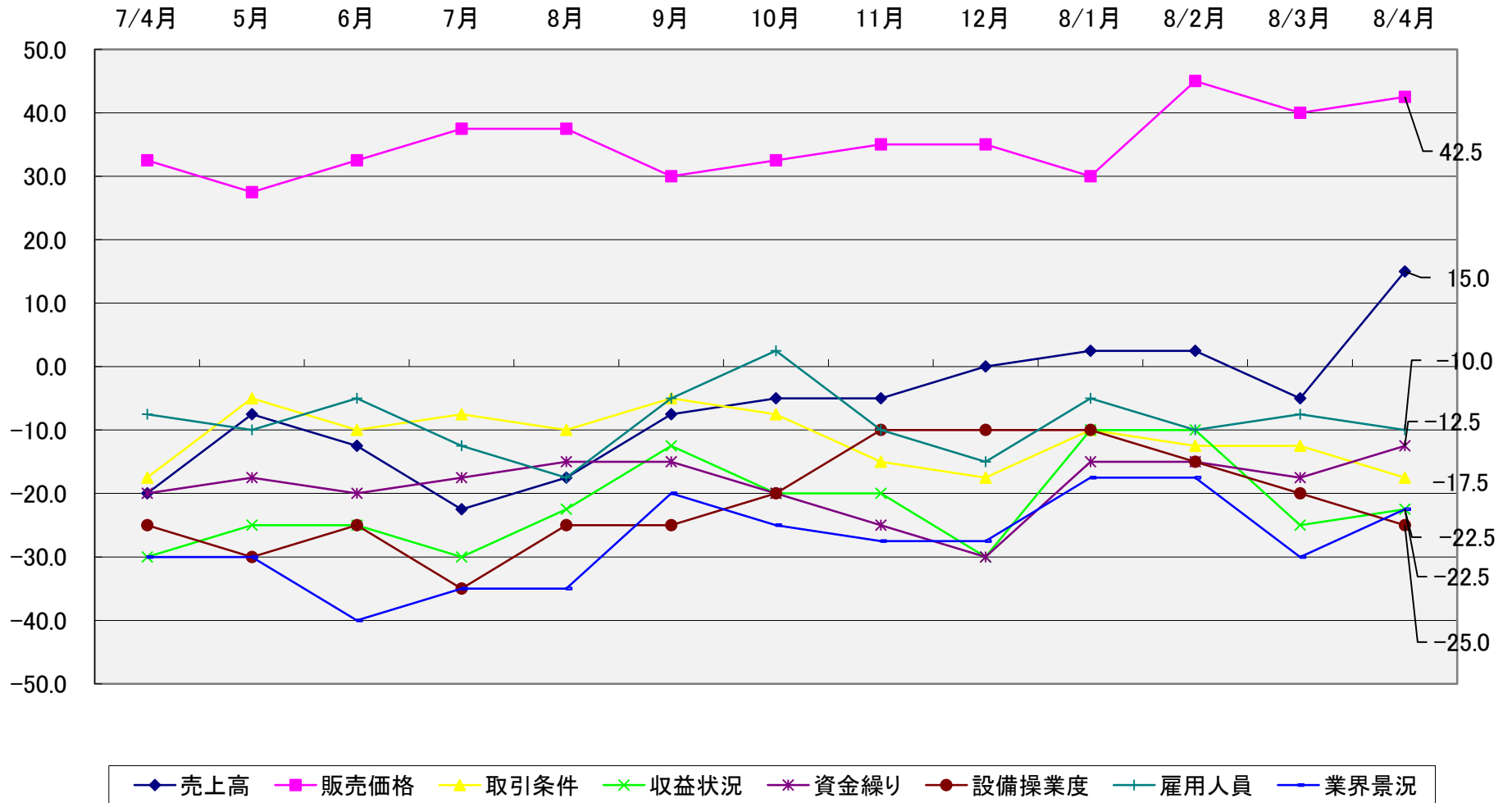
連絡員総数 40名

	7/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	8/1月	8/2月	8/3月	8/4月	増減
売上高	-20.0	-7.5	-12.5	-22.5	-17.5	-7.5	-5.0	-5.0	0.0	2.5	2.5	-5.0	15.0	20.0
販売価格	32.5	27.5	32.5	37.5	37.5	30.0	32.5	35.0	35.0	30.0	45.0	40.0	42.5	2.5
取引条件	-17.5	-5.0	-10.0	-7.5	-10.0	-5.0	-7.5	-15.0	-17.5	-10.0	-12.5	-12.5	-17.5	-5.0
収益状況	-30.0	-25.0	-25.0	-30.0	-22.5	-12.5	-20.0	-20.0	-30.0	-10.0	-10.0	-25.0	-22.5	2.5
資金繰り	-20.0	-17.5	-20.0	-17.5	-15.0	-15.0	-20.0	-25.0	-30.0	-15.0	-15.0	-17.5	-12.5	5.0
設備操業度	-25.0	-30.0	-25.0	-35.0	-25.0	-25.0	-20.0	-10.0	-10.0	-10.0	-15.0	-20.0	-25.0	-5.0
雇用人員	-7.5	-10.0	-5.0	-12.5	-17.5	-5.0	2.5	-10.0	-15.0	-5.0	-10.0	-7.5	-10.0	-2.5
業界景況	-30.0	-30.0	-40.0	-35.0	-35.0	-20.0	-25.0	-27.5	-27.5	-17.5	-17.5	-30.0	-22.5	7.5

(注1) 「D I」はディフュージョン・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする

企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	漬物	生産者の高齢化と後継者不足により、一部業者の中では漬物原料野菜の供給不足が続いており、また、ウクライナ戦争の影響及び円安による諸資材の高騰により、特に電気代の値上がりが経営を圧迫する状態が続いている。昨年からの米の価格高騰の影響により、米の消費が減少しており、それにつれて漬物の消費も伸び悩んでいる。また、新年度の通常総会を5月13日に津市において開催を予定している。更に中央会の事業を活用し、5月20日に鈴鹿市でAI活用に関する研修会を開催の予定している。
	醤油味噌	2月末に発生したアメリカ・イスラエルのイランへの攻撃によるホルムズ海峡の封鎖により政府の備蓄原油の放出がされたが、供給不安は依然として残っている。燃料、包装資材、物流費等への値上げ波及が心配である。その他、この1カ月は特に大きな変化はない。
	他に分類されない食料品 製造業	5月は総会がある。決算を見て、人件費、社会保険料の増によりこのままでは経営難に陥る。4月から加工賃のアップがあるが、どれだけの補填になるかわからないが期待している。
	製麺	5月27日の総会に向けて4月22日に役員会を開催して打合せした。今後の課題として1年間の行事予定を決めて会員の出席率を上げていくこと、伊勢うどんの品評会についても取り組んでいけるようにする。
繊維工業	衣料縫製	人手不足、人件費高騰による採算悪化と経営状態は悪化している。加えて、今後、中東の戦争により石油関連の供給が困難な状況が予測され、化学繊維の高騰、プラスチック資材の調達難など、工場稼働に支障が大きくなることが想定される。
木材・木製品	木材	中東情勢により住宅資材等の入手困難な情勢から住宅着工の遅滞が出てきている。円安、輸送コスト、燃料費の高騰等もあり、国産材製品の荷動きが低調な中、依然としてコストに見合った価格転嫁が進んでいない。
	木材チップ	原材料価格が高止まりしているため原料確保が課題であり、また、従業員の確保が困難である。機械や消耗品等、修理費の価格が高い。
紙・紙加工品	古紙	4月の仕入れ量は、段ボール・約97±3%位、新聞、チラシ・約85±3%位、雑誌・雑がみ、その他を合わせて約90±3%位。三重県内は大手県外本社の古紙仕入れ競争の主戦場のようで、当組合員の古紙集荷量は更に前年比で増える所と減る所の2極化となり、大幅ダウンの組合員は厳しい経営を強いられて、労働集約型の業種で働き手不足の経営環境で春闘の18,000円程の賃金上昇と、ここ数年の最低賃金30%前後以上の上昇(現在1087円)で精神的にも経済的にも更に大きな負担となっている。板紙の原紙の値上げは6月以降とのことでユーザーから合意が得られているようであるが、紙・板紙製品の軽薄短小化と持続可能な必要最低限・社会生活・必需品への消費方向となっているようで、しかも世界の警察を止めたアメリカ合衆国は自国民を守るためと核兵器拡散防止等のためにイランの元首等を殺害し、イラン原油輸出禁止措置のためホルムズ海峡閉鎖を行い原油やナフサ・薬品不足による製紙メーカーの生産不安もあるようで、前年比マイナス成長の様相である。しかしながら日本の心ある分別意識の高い国民は、綺麗な古紙の排出にご協力いただいております。紙の主原料がパルプと顔料へ変化しても、激変する国際相場や新品の木材パルプ価格から見ると価格は安く、私たちは人件費確保のために更なる取引価格の上昇と社内利益の確保を思っているこの頃である。今でも古紙や古着・金属の持ち去りやゴミ等の置き去り行為もなくなり、名古屋市は本年2026年10月1日から刑事罰になるようである。持ち去り古紙の法律案は登録制で古紙業界全体からも明瞭で分かりやすい社会的な姿勢も示されて、回収業者の売り買いや下店や代納業者によるロンダリング取引を警察が取り締まれる法的根拠を盛り込めるように切に願っている。
印刷	印刷	三重県より受託している三重県民手帳の売上から、(公社)三重県緑化推進協会へ、収益の一部を寄付してきた。昨年度3月に7社の組合員の脱退があり、4月から41社となった。資材費が中東情勢のあおりもあり、軒並み上昇。塩化ビニール資材においては、3割アップしている。用紙においても4月より1割上昇しており、今後の情勢次第では今年さらなる値上げもありえる。
	窯業・土石製品	伊賀焼
鉄鋼・金属	鍍金	業界の生産額は、総じて堅調な状況である。中心は自動車車載部品関係で、特にEV関連の受注が好調である。ただ、不透明な中東情勢の影響により経費の高騰が顕著になってきており、収益が圧迫される可能性が懸念される。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
一般機器	四日市市	中東情勢の影響を理由として、仕入価格について大幅な値上げの連絡が各メーカーから届いている。20~50%、またメーカーの生産調整の影響でシンナー、潤滑油、その他ナフサ由来の製品については供給量が制限されているようである。今後の販売価格へ価格転嫁を進めないと大きい問題になりそうである。機械加工メーカーは潤滑油の枯渇は生産への影響が大きいです。
	津市	売上額だけでみると昨年に比べて増えているが、材料価格がこの1年で大きく高騰したためであり、利益にすると減っているのが現状である。ここ最近では仕入れ値の上昇が大きく、売上単価の上昇が追いついていない。その結果、一部の製品で仕入れ値より売上単価の方が少ないというマイナス現象もおきている。米国、イスラエルとイランの戦争が原因であるが、この単価の急上昇はかなり厳しい。
	伊勢市	いろいろな状況が良くなってきていると感じる。米国とイスラエルのイランとの戦争、ホルムズ海峡の封鎖に伴う原油の流通困難の影響で石油製品の値上げや不足が心配されるが、今は生産ラインの稼働率がアップし、生産設備増強の需要は増えている。イランでの軍事衝突・戦争が早期に収まってくれることを望む。
	電気機器	鳥羽市
輸送機器	伊勢市	受注は自動車部品が増加し、一般機械器具が減少した。採算面では、新規受注等での寄与はあるが、既存品の利益率は厳しい。企業物価の値上がりによる収益圧迫は高まっている。本年も昨年に続く賃上げで、人件費の増加は必至であり、エネルギー価格高騰の影響も続く見込だが、加えて、製造に必要なモノが入り困難となるリスクも高まってきており、BCPでの懸念も出てきている。
青果	青果	【野菜前半】愛知産新タマネギが最盛期を迎えお値打ち価格に。新ジャガイモは産地の切り替わりで入荷が減って少し高値。徳島産春ニンジンは今が旬。ジュースやサラダに生のまま味わうのが良い。愛知産、熊本産のナスはお値打ち。トマト、ミニトマトも安くなってきた。タケノコも昨年に比べお買い得になっている。 【野菜後半】春から夏向けの品種や作柄が中心となり、順調に入荷。愛知の新キャベツ、トマト、ミニトマト、ナス、キュウリ、ピーマンがお値打ちになってきた。徳島産ニンジンも価格が下がっている。宮崎産、熊本産、ズッキーニの入荷も増えてきた。 【果物前半】県内産イチゴは順調に入荷。価格もお買得が続いている。デコボン、甘夏も終盤に近づいているが貯蔵物の入荷が始まる。熊本産スイカは順調に入荷。 【果物後半】熊本産スイカがピークを迎えている。甘くてシャキッとした食感。そして、アンデスメロンもスイカとともにゴールデンウィークにかけて入荷が増え、価格も安くなる。県内産イチゴはやや入荷が少なくなってきた。山形産サクランボの入荷が始まった。
	自転車	新学期が始まり、中学一年生の真新しい自転車が目立つ季節となり、各ショップは街乗り、スポーツ車等夏向けの商品を展示し始めた。大手企業の2026年春闘は物価高を踏まえた高水準の賃上げに注目が集まる中、労働組合要求の満額回答が相次いだ。中小企業の賃上げに向けた課題として価格転嫁は重要だが長期的には競争力を高めるには「稼ぐ力」をつける必要性を感じている。長引く中東情勢の混迷・不安定化もあり、海上運賃、国内輸送費、原材料価格の高騰で自転車メーカーのホダカ株は、4月10日受注分より希望小売価格の改定を打ち出してきた。また、ブリヂストンサイクル株は、自転車800円~3,800円、関連商品の一部プロモパーツ平均20.9%、一部のメンテパーツ平均12.7%アップとなり、4月下旬ホームページ上でお客様に対するお知らせを開始している。
	電器	年度初めは話題が多い月であった。イラン関連からホルムズ海峡閉鎖による原油をはじめとするエネルギー確保難の問題から、日立家電のノジマ買収というニュースと2027年問題での問い合わせが多く来ていた。商品の仕入れ確保が徐々に厳しく、特にエアコンや電気工事で使用される各材料も入手が難しく価格も上がってきている。2027年問題では蛍光灯が製造販売輸入が出来なくなる、エアコンも省エネ基準がクリアされない商品は基本的に製造販売出来なくなる(小売店の在庫分は販売可)事態が迫ってきている。お客様への提供がしにくくなっていくのは本当に困ってしまう。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
	石油	中東情勢の緊迫による原油価格の急騰を受け、政府は石油元売業者への緊急的激変緩和措置による補助金を再開したことにより、全体的に見れば、石油製品の価格は安定的に推移している。しかしながら、一部の組合員のSSでは、仕入れが困難な状況が生じているが、少しずつ緩和されてきている。 マスコミ報道では、軽油の入札不調や価格の上昇などが報道されているが、定期的に購入されている需要者には、価格、量とも安定的に供給されている。
	スポーツ	新学期も始まり学納品、部活動商品の納入で慌ただしい。メーカーの商品の供給が少し遅れていたり欠品が結構ある。サッカーゴール等、鉄やアルミ製品が今後値上がりしたり商品が作れない旨の通達も届いた。
商店街	熊野市	4月の第4日曜日に開催された朝市イベントは、今回新たにフリーマーケットブースを設け、10数軒の参加があり大いに盛り上がった。秋からは出店時間の変更を計画しており午前9時開催を10時に変更し、午後からの時間を長めにとることにより新たな客層の掘り起こしを行っていく予定。現在の近隣客中心から市外客やファミリー層を増やそうと検討している。今後の新たな企画を含め期待が持たれる。
サービス業	旅館	昨年の4月は「大阪万博」に持っていかれて、ひどい落ち込みであったが今年は例年のようにファミリーのお客様が春休みでもあり、多く出ていたようであった。しかし、ガソリンの値上がりによるマイカーの出控え等が影響したのか戻りは期待していたほどは無かった。対前年同月比130%、2019年同月比70%程度のものであった。
	警備	例年のとおり年度初めは予算が計上されておらず受注が少ないうえ、今月末から来月上旬にかけてゴールデンウィークに入り、売上高も減少するので大変な時期である。
建設業	総合工事業	2026年3月の公共工事の県内企業の受注状況は、前年度同月と比べて増加となっている。内訳でみると、国、県、市町発注いずれも増加している。4月から3月までのトータルでは今年度、県内企業の受注は約2割増となっている。
	内装工事業	新年度ということもあり例年売上は少ない傾向である。対前年同月比では少しプラスになったが中東情勢の石油不安も重なり、経済が不安定なので、今年度は非常に厳しい業況になると思われる。
	水道工事業 (亀山市)	中東情勢の終息が不透明の中、石油製品の高騰、品薄が続き、塩化ビニール管については品薄状態で入手が困難な状況となっている。今年度も亀山市からの業務委託は受注できたが漏水修理等の資材確保の問題があるかもしれない。資材の高騰、品薄が続き、まだまだ不透明な状況が続くそうである。
運輸業	トラック	4月の輸送需要は業種により微増、微減しているが、全体的には前年並みで力強さは感じられない。長距離輸送はドライバーの労働時間の制約、中東紛争による原油高もあり輸送を敬遠する傾向があり、輸送運賃が高止まりしている。他方、イベント関連輸送は前年通りの輸送需要がある。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	他に分類されない食料品製造業	運営についていろいろ指導をお願いしたい。
食料品	製麺	いつも決算に関しまして櫻井様にお世話になっています。引き続きよろしく願いいたします。
繊維工業	衣料縫製	繊維製品の国内生産は1.5%にまで衰退し、円安により輸入価格は上昇しているため、染色などの加工賃は国内生産の方が安価になっている。国内の自給率を高める政策を願います。
小売業	石油	原油の輸入量を安定させ、価格の高騰が一段落するまでは、引き続き緊急的激変緩和措置の継続を強く要望する。
一般機器	四日市市	大手企業の賃上げが進んでいるが、中小零細企業の賃上げが進んでおらず、賃上げ率の差が大きくなっている。中東情勢の影響が徐々に出てきている。営業ができなくなる状況ではまだないが、今後どうなっていくのか注意が必要です。

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
	サービス業	旅館	<p>①小規模な宿泊施設にあつては重油焚き温水ボイラーで給湯し、浴場等で使用しているが、県内の燃料業者よりA重油の供給確保が困難になるとの書面を受け、最悪、A重油の供給が悪くなれば、営業の休止という事態に陥ることとなる。この件については、他業種においてはずでに設けられている「政府相談窓口」をぜひ早急に設けていただくよう要望をお願い申します。</p> <p>②ガソリン値上げによる出控え対策として「ガソリン券」(割引)、高速道路通行料金の割引等、これから夏に向けての需要喚起策を早急にお願ひ申します。</p>
	建設業	総合工事業	中東情勢の影響による資材価格の高騰や物が入らない状況となっている。雇用環境も引き続き厳しい状況となっている。